

ちめいどうだより

基本理念

地域の皆様の健康と生命を守り、心のこもった医療と福祉を提供できる施設



<<目次>>

- *1 頁 表紙 『医療法人知命堂病院 森川理事長』
- *2 頁 『理事長 新年のご挨拶』 *3 頁 門野部長 『日本の医師養成の歴史 5』
- *4 頁 イッセイ 間看護部長補佐 『目指せ！ガラパゴス化からの脱却』
『くびきのだより』
- *5 頁 『訪問看護ステーションだより』 *6 頁 『初代看護婦長大関和さんが朝ドラヒロインに！』
- *7 頁 連載 第9話 『日本赤十字篤志看護婦会』 *8 頁 外来診療担当表



YouTube 始めました！



お手持ちのスマートフォン等で
QR コードを読み込むと YouTube が
見られますよ！ぜひご覧ください！
チャンネル登録もぜひお願いします！！

または

医療法人知命堂病院 YouTube



で検索！

医療法人 知命堂病院

〒943-0834 新潟県上越市西城町 3-6-31

TEL 025-523-2161 FAX 025-526-1511

併設 訪問看護ステーション

介護老人保健施設 くびきの

指定居宅介護支援センター

地域包括支援センター たかだ

HP はこちら！



理事長新年のご挨拶

皆様、新年あけましておめでとうございます。

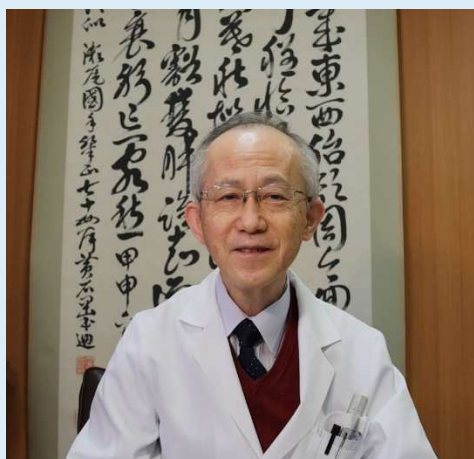
今年の正月は昨年と違い穏やかに過ごせほっとしています。しかも年末年始が9連休と、私が当法人に着任してから最も長期の休日でした。例年より慌ただしくなく、少し戸惑ってしまいましたが、皆様はいつもよりものんびり出来て、英気を養ってこれましたでしょうか。

さて、今年は昭和生まれにとっては記念すべき昭和100年であり、戦後80年でもあります。学生の頃は世の中が進み、科学が進歩した未来は、もっと平和で豊かで皆が幸せになるだろうと思っていました。しかし、ウクライナやパレスチナなどで戦争は続き、日本も防衛費が急速に増加しています。今年こそ世界で戦争が終わり平和が来るように願っています。

新年を迎えて、去年を振り返りますと、永井先生が副院長として赴任され、内科は4名体制と充実しました。10月からは血液外来と乳腺外来を開始しました。しかし当地域全体では医師も高齢化し不足しています。そこで昨年11月から渡辺内科医院の外来診療の応援を始め、今年1月からは上越市の要請で、吉川診療所の外来診療の応援を開始しました。医師不足のため公立・公的病院だけでは間に合わず、民間医療法人である当院も地域医療に更に一歩貢献を進めていくことになりました。

また今年は介護保険制度創設から25年目でもあります。介護保険により、介護の担い手は家庭から社会へ、そして保険料を負担する事で権利意識も育ち、かつては家庭で女性だけが介護を分担していた状況からは大きく変化してきました。一方、上越地域の医療構想は、当初は急性期病院、公立・公的病院をどうするかという議論でしたが、当地域が、急速に高齢化と人口減少が進み、医療スタッフも高齢化と人材不足が顕著となっています。そのため急性期医療だけを検討しても、その後の道筋を整理しないとやっていけない、すなわち慢性期の病院の重要性が認識され、また老健など介護福祉施設についても無視できない事が共通認識されてきました。

医療法人知命堂病院は、医療と介護と福祉を担うべく、病院・老健・訪看・居宅介護支援センターと地域包括支援センターを備えています。今後の上越地域においては、病院と複数の関連施設を併設しているケアミックス型の当法人の活躍がますます期待されています。各部門は今まで以上に連携しながら、地域のニーズに応えるように頑張りますので、当法人の運営にご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



医療法人知命堂病院
理事長 森川 政嗣

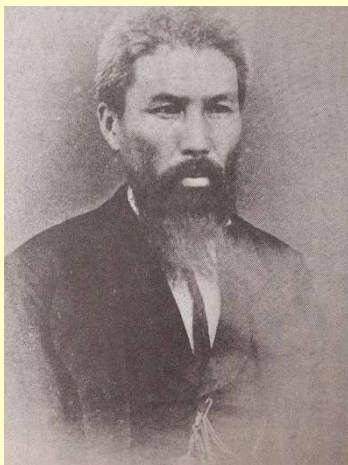
日本の医師養成の歴史 5

内科部長 門野 聡

瀬尾玄弘は明治 10 年頃から総合病院と医学校建設構想を抱き準備開始しました。詳しい経緯を森川政一著、明治・大正上越医界史、北越出版から引用します。「瀬尾玄弘が総合病院と医学専門学校建設の構想を抱いた明治十年頃より将来これらのスタッフとなるべき医師の養成を心がけ、優秀な人材に学資を援助したり、養子にしたりしている。甥の菅沼原始は若くして養子となり、東京大学医学部を卒業し、明治 24 年 11 月、私立知命堂病院の初代院長になったが、原始もまた養父玄弘の遺志を受け継ぎ、医師の養成を行っている。玄弘・原始父子の援助を受けた主な医師を挙げれば瀬尾昌作（旧姓設楽）・瀬尾寛之（旧姓笠原・京都大学在学中死亡）・菅沼定男・瀬尾雄三（旧姓渡辺）・瀬尾定信（旧姓島田）・森川政三（旧姓森成）・瀬尾辰雄（旧姓菅沼）・黒沢豊等と薬剤師になった瀬尾角治（旧姓竹田）がいる。初代院長の瀬尾原始が東京大学附属第一病院の助手兼看護婦養成掛時代の教え子である大関和（東京大学看護婦養成所第 1 回生）を初代婦長に迎え、さしあたって必要な院内見習看護婦の教育を行う。明治 27 年 4 月私立知命堂病院附属産婆看護婦養成所（知命堂病院附属准看護養成所の前身）を開設し、瀬尾原始は養成所長を兼務し、大関婦長と共に、産婆のほかに県下初の看護婦養成を開始している。（それまでに産婆養成所はあっても、看護婦養成所はなかった。）生徒は毎年 5 名前後で、全寮制をとっていた。」明治 9 年には新潟に県立新潟病院医学校が開設されていますので、高田地区にも新時代に相應しい病院と医学校設立を願い、人材育成を進めたことが胸に伝わってきます。

今回は初代院長瀬尾原始、第 2 代院長瀬尾雄三、第 3 代院長森川政三らの、明治期から大正期の医師養成・医師免許取得・医学校について概説いたします（参考文献：坂井建雄、我が国の近代医学教育の源流。；明治初期の公立医学校。日本医史学雑誌 109-112,2011）。

明治 6 年、新政府はフランスを模範に「学制」を定め、教育制度整備を開始しました。その後、教育令（1879、明治 12 年）、小学校令・中学校令（1886、明治 19 年）、高等学校令（第一次、1894、明治 27 年）、教育義務化・無償化（1900、明治 33 年）、専門学校令（1903、明治 36 年）、大学令（1918、大正 7 年）を發布し、戦前の初等教育から専門高等教育（医学校を含む）の体制がほぼ整えられました（維新から約 50 年）。明治初期、お雇いドイツ人医師による日本人教師養成機関を東京大学の前身校 1 校に絞り（2 校目の官立大学である京都帝大医科大学設立は明治 32 年、第 1 回卒業生明治 36 年）、一般医養成目的として、ほぼ各県に公立医学校が設立され、都会では私立医学校も盛んに設立されましたが、明治 20 年を境に公立・私立医学校は激減し、少数のみが存続し今日の医学校につながっています。その変遷に関して少し詳しく解説します。（次回へ続く）



壮年期の瀬尾玄弘

目指せ！ガラパゴス化からの脱却



看護部長補佐 間 雅子

平成 29 年 4 月 1 日から知命堂病院看護部長に就任し、その後看護部長補佐として 8 年が過ぎました。国立病院機構を定年退職するにあたり、「このまま看護師を辞めるのは不完全燃焼だな」と感じているところへ地元の知命堂病院へのお誘いをいただきました。単身赴任を含め 9 施設を異動してきたのですが、初の民間病院への就職でした。通勤範囲内で地元での再就職は、地に足をつけた仕事ができると大変うれしく思っていました。

歴代の看護部長たちが培ってこられた知命堂病院看護部は様々なことに着手されておりました。民間病院によく見られる医師絶対思想や年配者が幅を利かせる職場環境などは、想定範囲でした。ただ、看護方式の「固定チームナースング」や管理手法の一つである「目標管理」は、せっかく取り組んでいるのに、実がなっていない状況で「もったいない」というところでした。そこで、新たに他の事に取り組むことより「現状をアップデートしよう！」と考え、現状のものを最新の状況に更新してきました。出来たこともあれば、出来ないことのほうが多かったように思います。

そんなことを経験しながら自分のことは棚に上げて思い至ったことは「知命堂という環境の中で純正培養された組織風土は、独自の進化を遂げているガラパゴス化だ」と言う事です。進化していないこと言う事ではありません。全国標準ではなく知命堂の 150 年を超える歴史のなかで、独自の進化をしてきたという事です。そんな中、診療報酬改定に伴い加算の要件として医療安全対策地域連携や、感染対策連携会議が発足し、他院と連携をすることとなりました。そこでは、公的機関のガイドラインなどを基に作成されたチェックリストを用いて当院の自己評価を行い、外部の施設から評価を受け改善策を実施するのです。連携施設の感染管理認定看護師や医療安全専門チームがラウンドを行い評価しました。それはとても良い刺激であったと思います。

辛辣なことも書いていますが、再就職の動機であった不完全燃焼は鎮火しましたし、私が看護師人生で 2 回も定年（+α）を迎えることができますのも、アットホームな環境と皆様の温かい人柄のおかげと感謝しております。（本当です）

2026 年春の NHK 朝の連続ドラマでは当院初代看護部長の大関和さんをモチーフに構成されることが発表されました。大関さんの 150 年前の業績が全国レベルで知れ渡る時、その土台に立つ現在の知命堂はどの様に映るのでしょうか？歴史ある知命堂が取り組むべきことは、様々な視点から改善すべきところ、また、大切にするべきものは何かを見極めること、そして職員一人一人が主体性をもって、やりがいのある職場を作っていくことかと考えています。

「ガラパゴス化」に関する説明はウィキペディア（フリー百科事典）をご参照ください。

上の写真 ちめいどう祭り、バルーンアートの準備とキッズコーナーで。



高校生一日体験・・・かわいかった！

研修会の一コマ



訪問看護ステーションだより

歌と利用者さんとの思い出

吉田 真美



私が訪問看護を行うようになって 10 年以上が経ちました。沢山の利用者さんと関わらせて頂いた中で思い出に残っているエピソードを 1 つお話します。

100 歳を過ぎている男性、ご自身でトイレや食事など自立されている方でした。マッサージをしながら会話をしていると「高田の四季」という歌がお好きだと話されました。誤嚥性肺炎予防にと思い、私も知っていたので「一緒に歌いましょう」と促すと恥ずかしいからと歌われませんでした。私も上手ではありませんが歌い始めるととても喜んで下さいました。喜んでもらえて嬉しかった私が訪問時毎回歌うと、少しずつ一緒に歌って下さいました。初めは小さい声でしたが段々慣れてくると歌の本を持って来て、「高田の四季」春から冬までフルコーラスを大きな声で歌ってくれるようになりました。ご家族の方も「おじいちゃんが歌をうたうのはじめて聞きました」と驚かれていました。その後も訪問の度に一緒に「高田の四季」を歌う事が私も楽しみになり、一緒に歌の本を見なくても歌えるようになりました。歌の効果か自宅に居らっしゃる間、むせることなく最後までご自身でお食事をされていました。しばらくして体調を崩し入院され、そのまま自宅に戻る事なく病院で亡くられました。病衣のポケットに歌の本が入っていた事、訪問看護師が来るのをとても楽しみにしていた事を後日家人からお聞きました。

人それぞれ好きな事があります。好きな事をいつまでも続けていける人生、好きな事を思い出して寄り添って人生を送れるようにお手伝いできたらと日々訪問看護を続けています。

訪問看護って何してくれるの？ 病気や介護で困っている事、ご相談などありましたらご連絡ください。お待ちしております。

電話 025-522-5539

知命堂病院訪問看護ステーション

🌸 初代看護婦長大関和さんが朝ドラヒロインに！

知命堂病院初代看護婦長 大関和さんが NHK 連続テレビ小説のモチーフになりました。1891年11月に開院した知命堂病院の初代看護婦長を務めた大関和(ちか)さんは、医療が定着していない明治という時代に看護という職業を確立していった方です。

2026年度前期 連続テレビ小説『風、薫る』(作:吉澤智子)は、この大関和(おおぜき・ちか)さんと鈴木 雅(すずき・まさ)さんという二人のトレインドナースをモチーフに描く、考え方もやり方もまるで違う二人の主人公のバディドラマとことです。

当法人の関係者が主人公ということで、大変喜ばしく感じており、応援していきたいと思います。

2026年度前期 連続テレビ小説「風、薫る」

【放送予定】

2026年春

【制作スケジュール】

2025年秋 クランクイン予定

【作】

吉澤智子

【原案】

田中ひかる 「明治のナイチンゲール 大関和物語」

【スタッフ】

制作統括:松園武大

プロデューサー:川口俊介

演出:佐々木善春 橋本万葉 ほか

【物語】

明治18(1885)年、日本で初めて看護婦の養成所が誕生したのを皮切りに、次々と養成所が生まれた。そのうちの1つに、物語の主人公・一ノ瀬りんと大家直美は運命に誘われるように入所する。不運が重なり若くしてシングルマザーになった、りん。生まれてすぐ親に捨てられ、教会で保護されて育った直美。養成所に集った同級生たちは、それぞれに複雑な事情を抱えていた。手探りではじまった看護教育を受けながら、彼女たちは「看護とは何か?」「患者と向き合うとはどういうことか?」ということに向き合っていく。

りんと直美は、鹿鳴館の華といわれた大山捨松(おおやま すてまつ)や明六社にも所属した商人・清水卯三郎(しみず うさぶろう)らと出会い、明治の新しい風を感じながら、強き者と弱き者が混在する“社会”を知り、刻々と変わり続けていく社会の中で“自分らしく幸せに生きること”を模索していく。

養成所卒業後、二人は同じ大学病院でトレインドナースとしてデビュー。まだ理解を得られていない看護の仕事を確認するために奮闘の日々を送っていたが、りんは程なくして職場を追われることに。一方、アメリカ留学を夢見る直美は渡航直前に思わぬできごとで巻き込まれ…。

やがて、コレラや赤痢などさまざまな疫病が全国的に猛威をふるい始める。一度は離れ離れになった二人だったが、再び手を取り、疫病という大敵に立ち向かっていく。



腸チフスが全快した瀬尾ソノと大関和



連載 <第9話>

日本赤十字篤志看護婦会



瀬尾原始は、明治二十年六月に日赤篤志看護婦人会発会式と書いてありますが、この会は、このあと明治三十七年にも出て来ますし、看護婦の募集や養成とも関係があるので、この看護婦人会の話を、ここで説明しておきます。

先にお話しましたように、洋行帰りの医師や外人医師達により、看護婦の重要性、必要性が称えられ、更に西南戦争の時の経験から、女性の看護婦の養成が急務であると云われても、賤しい職業とする風潮が強く、男尊女卑の時代に女性が独立した職業を持つことに抵抗もあって、看護婦を募集することは容易なことではありませんでした。

そこで日本赤十字社では有栖川宮堇子（やすこ）妃殿下を始め上流貴婦人達を発起人として看護業務は高尚な名誉ある仕事であると訴えて、一般社会の婦人達の参加を求め発足した会でありまして、この結果、看護婦の志願者の増加と日本赤十字社の活動の理解に役立たせることが出来たのであります。

明治三十七年に日露戦争が始まり、戦傷者の内地送還が増加するにつれ、看護婦の手不足で看護や応急手当が不十分のこともあったりして、看護の心得のある婦人の奉仕や助力が必要となってきました。原始院長の提案でソノ夫人たちが同志をつのり、十月十七日、日赤篤志看護婦人会高田分会が発会されました。月二回、知命堂病院を会場にして、主に原始院長が講師となり看護法や救急法等の講義が行われ、知命堂病院の看護婦も実技に参加しています。所定の教課が終了すると終了証書を授与していました。



篤志看護婦会の制服を着用する瀬尾フミ婦長



移送中の日露戦争の傷病兵を直江津駅前の松場館で

注）執筆当時原文まま

(医)知命堂病院 診療担当

外来診療

2024 年 12 月 1 日～

			月	火	水	木	金
内 科	午前	1 診(再来)	門野	森川	石橋	森川	石橋
		再来・予約	森川 (予約制)	永井	門野	阿部	森川
		新患・予約外	石橋	門野	門野	阿部 第3：永井	森川
	午後	新患・予約外	門野	石橋	石橋	第1・3・5 13：30～15：00 血液・一般 永井	永井
						第3：阿部	
						第2・4 14：00～15：00 完全予約制 県中病院医師	
脳神経内科	午後	3 診(再来・新患)					
外 科	午前	5 診(再来・新患)	武藤	武藤・藤田 隔週	藤田	武藤	藤田
		2 診 (呼吸器心臓血管)			第1・3 矢澤		
	午後	急患	藤田	武藤	13：30～15：00 乳腺 武藤	藤田	藤田
整形外科	午前	4 診(再来・新患)					10：00～12：00 完全予約制 県中病院医師
泌尿器科	午前	再来・新患		9：00～11：30 新屋	9：00～11：30 新屋		9：00～11：30 新屋
	午後			13：30～15：00 新屋			13：30～15：00 新屋

内視鏡検査

		月	火	水	木	金
内 視 鏡	胃カメラ	藤田				

診療時間 9:00～17:00 (月曜日から金曜日)
 外来診療受付時間 8:30～11:30 (医事課窓口)
 面会時間 10:00～12:00 15:00～20:00 ※現在は対面による面会は禁止となっております。(オンライン面会可)
 休診日 土曜日・日曜日、祝日、お盆(8月15日、16日)
 年末年始(12月30日～1月3日)
 ※ただし、急患の場合はこの限りではありません。

☆看護師・介護員募集☆

～地域医療の一翼を担う私たちと一緒に働きませんか～

看護師： 夜勤可能な看護師
 介護員： 介護福祉士、ヘルパー2 級以上(初任者研修)
 勤務場所： 知命堂病院または介護老人保健施設くびきの
 問い合わせ先： 電話(代表) 025-523-2161 事務長

カラオケ設備を増設しました🎤🎵



今までは通所リハビリテーションのみ設置していましたが、入所施設でもカラオケ設備を設置しました。

利用者の皆様に唄って楽しんでいただけたら幸いです。



知命堂病院YouTubeチャンネル
随時更新しています。
ぜひ、チャンネル登録をお願いします。



医療法人知命堂病院 介護老人保健施設くびきの

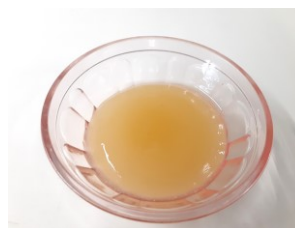
TEL 025-526-2161 FAX 025-526-1156

【HP】 <https://www.chimeido.jp>

【メール】 kubikino@chimeido.jp

利用者ご家族様よりりんごをいただきました

利用者ご家族様からりんごをいただきました。
くし形切りやゼリーに混ぜ利用者に提供し、「おいしい(^^)」というお声をいただきました。
提供いただきありがとうございました。



お食事は楽しみ！そして健康への第一歩。

「お楽しみメニュー」の一部をご紹介します。



今年のクリスマスメニューです。
クリスマスを感じられるメニューで喜んでもらえました。



1月7日に「七草粥」を提供し、季節を感じていただきました。利用者の皆さんが健康でいられますように。



年に1回提供している海鮮丼。
普段食事が進まない利用者も勢いよく食べていました。

通所デイケア利用者随時募集

通所デイケアでは、健康管理・リハビリ・栄養管理・食事・入浴等々、入所と同様のサービスをご利用いただけます。

当施設ではリハビリ専門職員として理学療法士・作業療法士のほか、言語聴覚士も配置し、様々なリハビリを提供いたします。

半日利用・1日利用を選択いただけます。ご希望の方は当施設通所職員ご相談ください。

